

行政視察報告

(会派 至誠の会)

<視察目的>

山城サミット開催後の史跡を生かした町づくりについて
又、山城の維持管理、観光戦略等について

<視察概要一覧>

視察月日	視察先	視察施設	視察内容
11月20日	岡山県 津山市	津山城趾	城趾の維持管理と観光について
11月21日	兵庫県 宍粟市	波賀城趾	ふるさと創生事業で再現された 波賀城趾の維持管理について

<視察概要報告>

1. 津山市

対応部署：美作の中世山城連絡協議会

津山観光ボランティアガイドの会

● 説明概要

津山城趾パンフをもとに城郭や城内の特徴、整備中の内容説明を受け視察した。市有地に位置づけてあるので発掘調査より整備は、教育委員会文化課が担当し、入場者や落葉や清掃作業等の公園管理は、指定管理料 19,100 千円で観光振興課から観光協会へ、さらに、樹木の維持管理、植栽施肥は公園緑地課が担当され、年間 2,200 千円の予算で業者委託されている。整備計画は平成 38 年度まで樹立されており、国費（50%）、県費基準額の補助事業で年次計画が進められている。

<考 察>

平成22年に山城サミットが開催され、その後の取り組みを調査したく伺ったが、津山城は日本三大平山城で、これを中心に周辺に14の山城があり、それぞれの代表者が中世山城連絡協議会を設立され、保存活動や講演会、シンポジウム開催、会報の発刊で、連絡協の課題を共有する姿が見られたいへん参考になった。

津山城趾の管理等は、3部署であり、指定管理を受ける観光協会が公園管理、集客の前面に出ていることを実感し、多額の指定管理費の使途明細も参考としたいが、詳細の説明は受けられず残念であった。

<視察概要報告>

2. 宍粟市

対応部署：宍粟市教育委員会 教育部、社会教育文化財課

● 説明概要

平成2年から発掘調査に着手し、戦国時代の石垣が確認され、全貌解明には至っていないが、ふるさと創生1億円を基に、同時代の山城を参考に石積等を復元し、6年がかりで総事業費2億円余で整備する。民有地を林道で結ぶ平成の築城であるが、地元自治会と観光協会の協力で維持管理につとめている。来城（訪）者は1,200人／年程度と推察しているとのこと。

<考 察>

平成9年に波賀城跡復元工事が一区切りつき、全貌解明には至っていないが、年間90万円余で地元自治会に除草陰切等を委託し、その後平成17年に完成した歴史伝承の家を歴史民俗資料館として来訪者へ史蹟公園の位置づけで町の活性化に寄与されている。木造建造物の手摺りや茅葺きの休憩所のいたみがあり、今後の維持管理、修繕等の課題があると思われる。